

■ 巻頭論文

「ハト派・リベラル」の衣をまとった「安倍背後霊」 政権
 五十嵐 仁 5
 — 岸田文雄新内閣の性格と限界
 「ジャーナリストからみた安倍・菅政権」
 望月衣塑子 12
 — マスコミの立ち位置 —

● 情勢

「資料」立憲民主党国対委員会が第九二回山宣墓前祭に寄せたメッセージ
 17
 「土地利用規制法」は国民弾圧の「仮面法」
 福島 清 24
 — 「軍機保護法」上回る危険性、断固廃止を！
 石山 久男 19
 Q & A 歴史を偽造する新たな教科書攻撃との闘い

◆ 研究・レポート

治安維持法は活きている
 拙著『戦争と弾圧』を通して考えたこと
 額 厚 32
 石城 謙吉 39
 浅野晃 — その転向の軌跡
 今こそ求められている。歴史的な検証
 横田 有史 46
 「治安維持法と朝鮮・布施辰治弁護士活躍を軸に」

治安維持法の起源は「竹橋事件」

「リポート」南京の生徒たちが学んだ「山宣と彼の生きた時代」授業
 内野 明和 52
 永島 梓 58
 戦前大阪外語社会科学学会弾圧事件の資料調査と公開を求める運動
 溝川 悠介 64
 — 父良治の事例 —
 「旧奈良監獄保存・活用」は資料館として活用を —
 田辺 実 69
 治安維持法で収監された政治犯の事績の常設展示の実現のために

● 同盟文芸

詩吟「ああ伊藤千代子追悼詩」
 木越 暁 74
 — 戦争前、権力に抗して倒れし君を忘れじ

● エッセイ

「地球時代」を共に生きるために — 戦争・軍国主義の原体験から
 清水 寛 77
 与謝野晶子の随筆「紀州のおふかささん」
 古澤夕起子 84
 — 大石誠之助と鉄幹・晶子 —

● 本の紹介

荻野富士夫著 『治安維持法の「現場」』 後藤太刀味 89
 大阪府本部編 『時代に抗して光を求めた人々』 宮田 汎 92
 兵庫県本部編 『民主主義の日本めざして』 田中 隆夫・堤 隆二 95
 — 「川崎・三菱大争議」100年
 望月たけし 100
 日野百草著 『評伝 赤城さかえ』

◆ 短歌

クラクイン「わが青春つきるとも」
 上田 精一 103

◆ 同盟運動シリーズ

追悼・塩田一行さん

講演記録・「現在の情勢と同盟の役割について」

——松戸・鎌ヶ谷支部再発足総会にて

侵略と加害の歴史に真摯に向き合ってこそ真の友好が

——同盟主催・アジア「平和・連帯の旅」を振り返る

近代沖縄の民衆運動と同盟運動——『反戦平和の源流 近代沖縄の民衆運動』

(安仁屋政昭著)に寄せて

「映画千代子運動」を通じて大阪・此花区に根を張る支部活動

小松 実

小池 莊市

大城 辰彦

中川由美子

104

106

113

120 125

● 資料コーナー

悪法・治安維持法にしがみつくと自公政権

——畑野君枝衆院議員への金田勝年法相（当時）の答弁

同盟データブック・資料紹介

——治安維持法被弾圧犠牲者の諸数値・リスト化

本誌編集部

129

138

★ 会員交流

愛知県知事リコール——偽造署名は何故・佐賀市で行われたか

愛知リコールの真相解明を

浜田紀男／今田真人

153

読者ハガキから

155

※表紙カット 岡部哲郎

■ 巻頭論文

「ハト派・リベラル」の衣をまとった「安倍背後霊」政権

——岸田文雄新内閣の性格と限界

法政大学名誉教授 五十嵐 仁

はじめに

岸田文雄新政権が発足しました。久々の宏池会出身の首相です。岸田氏本人の真面目さや素直さもあって、安

倍・菅政権がまとって

いた「安倍一強」支配

の暗い影が払しょくさ

れるのではないかと

期待もありました。岸

田氏自身も「自民党が

変わった姿を示したい」と抱負を述べています。

「新しい資本主義」を掲げて新自由主義から転換するか

のようなそぶりも示しました。民主主義への危機感を表

明し、当初は森友関連公文書の改ざん問題の再調査をほ

のめかしていました。「成長と分配の好循環」を掲げて、

アベノミクスに否定的な印象も振りました。

しかし、それは事実でしょうか。自民党総裁選から決

選投票、役員と閣僚人事をめぐる一連の過程を振り返る

ことよって、岸田新首相が陥ったジレンマと変わらな

ければならないにもかかわらず変わることのできない自



五十嵐仁氏